



浅草はなぜ日本一の 繁華街であり続けるのか (仮)

住吉史彦・著 (すき焼き「ちんや」六代目店主)

46判並製 240頁 予価: 本体 1500円+税
ISBN978-4-7949-6920-0 C0095

老舗とは、何世代にもわたって来てくれるリピーターがいる店のこと

毎日、国内外から多くの人が集まる、東京・浅草。震災と戦災で2度も焼け野原になった浅草で、130年にわたってすき焼き屋を営んできたちんやの店主が、浅草の重鎮たちに、同じ浅草の商人として「商売の秘訣」を聞き出す。老舗はどのように生まれるのか。

浅草にこだわり、
浅草に居続けるのはなぜか？

銀座とはどのように違うのか？

浅草らしい商いとはなんなのか？

浅草ならではの「商人論」を探り出し、江戸っ子の生き方も引き出していく。

- | | |
|------------------|-------------|
| 祭礼具製造販売「宮本卯之助商店」 | 七代目店主・宮本卯之助 |
| 江戸趣味小玩具「助六」 | 五代目店主・木村吉隆 |
| 落語定席「浅草演芸ホール」 | 二代目席亭・松倉久幸 |
| 割烹「一直」 | 六代目店主・江原仁 |
| 「駒形どぜう」 | 六代目店主・渡辺孝之 |
| 洋食店「ヨシカミ」 | 二代目店主・熊澤永行 |
| 「弁天山美家古寿司」 | 五代目店主・内田正 |
| おでん屋「大多福」 | 四代目店主・船大工安行 |
| 和装履物「辻屋本店」 | 四代目店主・富田里枝 |

本書に登場する人たち



本書は対談場所をバーにし、旦那が薦める浅草のおとなの「オーセンティックバー案内」としても活用できる。

住吉史彦 (すみよし・ふみひこ)

1965年浅草広小路に生まれ育つ。2001年に家業である1880(明治13)年創業、すき焼き「ちんや」を継いで六代目店主となり、現在に至る。本業を盛りたてるだけではなく、老舗の旦那として地元浅草の街を支える、日本初のすき焼き屋の団体「すきや連」を結成し事務局長に就任、向笠千恵子著『すき焼き通』『日本のごちそう すき焼き』の刊行に参画。また、東北復興チャリティー企画「五県蔵元連合試飲会」や「すき焼き食育プログラム」などを開催。

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切2月2日

新刊委託申込書	取次・貴店印	浅草はなぜ日本一の繁華街で あり続けるのか (仮) 住吉史彦 著	申込部数	
	ご担当		様	冊
	【紀行・地域社会】46判・240ページ 予価: 本体1500円+税 ISBN978-4-7949-6920-0 C0095 2月25日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940		拡材希望	
			P O P	パ ネ ル